

Weekly Reports 2025-2026



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



2025-26年度 RI会長;フランチェスコ・アレツツォ / 地区ガバナー; 城 守
加古川ロータリークラブ会長;松尾 将勝 / 幹事;船原 太郎
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和7年9月9日(火) No. 10



▲会長挨拶



▲安達会員自己紹介



▲戸田会員自己紹介

会長の時間

会長 松尾 将勝

皆さんこんにちは!先ずは、阪神タイガースのファンの方、2年ぶりのリーグ優勝おめでとうございます。他のセリーグの球団は、全部“喝”で先ず借金を返済してください。次に、先週は、急に台風が発生し、この地域も久しぶりの本降りの雨がふり、気温も明け方は少しは“まし”になってますが、昼間は相変わらず暑い日が続いておりますので、引き続き体調管理にご留意願います。その台風ですが、静岡県では、突風や竜巻で、家屋や店舗が大変な被害を受け、一時1万戸の住宅で停電になっているとのこと、この暑い時期に停電は、命に係わることで、早急な復旧を祈りたいと思います。先週も申しましたが、災害は、いつ、どこで発生するか分かりませんので、常に防災意識を持たれて、いざという時に備えて頂きたいと存じます。

次に、先週末9月6日(土)、7日(日)に加古川商工会議所青年部が主管の加古川楽市が開催されまして、その中で毎年設営されます加古川の3クラブ合同のブースに寄られ、エンドポリオナウの募金キャンペーン活動にご参加されたメンバーの方々、暑い中ご苦労様でした。

主催の商工会議所の釜谷会頭、青年部のピンクのポロシャツを着られ、オープニングのご挨拶をされておりましたが、会頭として楽市での最後の挨拶お疲れ様でした。

ロータリーの方では、今月は、「ロータリーの友月間」で、先週は、大野雑誌委員長に卓話をして頂きましたが、今、一般的な雑誌を販売する町の書店屋さんが大ピンチに陥っております。インターネット、スマホ、SNSなど、デジタルの荒波が押し寄せ、地元に愛されてきた「街の本屋さん」が次から次へと閉店しています。具体的な数字を申しますと、2023年度の書店の総店舗数は、全国で1万918店で、10年前の1万5602店から3割以上減少しています。よって、「書店のない市区町村」は、24年8月末時点で全国の約28%に及ぶ様になりました。書店激減の背景には、ずばり売上不振にあります。特に雑誌(週刊誌、月刊誌、コミックス)等の売上は、23年度は、4400億円で、ピークだった1997年の3割にも満たないところまで落ち込んでいます。それに関連して「読書離れ」を物語る数字があります。

2年前の世論調査で、1か月に本を1冊も読まないと答えた人が62%と、5年前より15ポイント上回り、初めて6割を超えたとのことです。減った理由は、ずばりスマホ、タブレット端末で時間を取られるが44%と最も多かったとのことです。結びになりますが、会員の皆様には、ロータリーの友を読んで頂きながら、町の本屋さんには、いつまでも頑張ってもらいたいのので、少しでも応援出来る様に地元の本屋さんで、是非本を買って頂きたいと存じます。本日は、この後、安達順哉会員、戸田博文会員の自己紹介があります。本日も宜しくお願い致します。以上で会長の時間とさせていただきます。

幹事報告

- 1) ローターレートのお知らせ 2025年9月1日より1ドル147円です。
- 2) ☆他クラブ例会変更のお知らせ
 高 砂 R C 9月19日(金)→12:30~ 高砂青松RCとの合同例会
 於:高砂市生石研修センター
 10月 3日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]
 10月10日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]
 10月24日(金)→10月26日(日)8:00~家族移動例会
 於:京都・サントリー山崎蒸留所見学他
 高 砂 青 松RC 9月17日(水)→19日(金)12:30~ 高砂RCとの合同例会
 於:高砂市生石研修センター
 10月15日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
 10月29日(水)→11月9日(日)於:市ノ池公園
 ラトロブ・デイ~国際交流 BBQ
 加古川中央 RC 10月 2日(木)⇒3クラブ合同例会 午後6時~
 於:加古川プラザホテル
 10月23日(木)⇒10月25-26日(土・日)親睦旅行
 10月30日(木)⇒ 休会【定款第7条第1節(d)】
 11月27日(木)⇒ 休会【定款第7条第1節(d)】
- 3) BOXに加古川中央ロータリークラブの会報を入れております。
- 4) 加古川保護区保護司会と加古川混載交流協会より広報誌が届きましたので
 回覧いたします。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|--|
| 省 | 略 | ☺ | 9月6日、7日のエンドポリオナウの募金キャンペーンにご協力頂きましてありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 安達順哉会員、戸田博文会員、本日の自己紹介よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 中原ロータリー財団委員長、ポリオ募金2日間お疲れ様でした。また、多数のお手伝い有難うございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 安達会員、戸田会員、本日の自己紹介楽しみにしています。 |
| 省 | 略 | ☺ | 安達会員、戸田会員、自己紹介宜しくお願い致します。 |
| 省 | 略 | ☺ | 安達会員、戸田会員、自己紹介たのしみにしております。 |
| 省 | 略 | ☺ | 市川靖典先生、加古川 RC 入会お慶び申し上げます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 安達会員、戸田会員、自己紹介楽しみです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 大庫直前会長、先日は黒糖焼酎島有泉ありがとうございました。ハマリそうです！ |
| 省 | 略 | ☺ | 長らく休んでおりますと書類がたまっていました(汗)誕生日プレゼント、写真ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 安達会員、戸田会員、自己紹介楽しみにしています。 |
| 省 | 略 | ☺ | 安達、戸田会員、自己紹介楽しみです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 安達会員、戸田会員、本日のネタづくりお疲れ様でございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 穴田さん、5日金曜日は大変お世話になり、ありがとうございました。久々に委員長ともお会いできて嬉しかったです。 |
| 省 | 略 | ☺ | お花いただきます。 |

以上15件 ¥18,000-
 本年度累計¥494,000-

出席委員会

☆ 今 週 会員数73名 出席43名 出席免除10名 欠席20名
 ☆ 欠 席 者 省略
 ☆ 前 々 週 会員数72名 出席55名 出席免除9名 欠席8名

親睦活動委員会

例会場当番

9月16日(火) 穴田・桑田圭

10月7日(火) 高田・久後

プログラム委員会

本日9月9日(火)	9月16日(火)	9月23日(火)	9月30日(火)
新会員自己紹介	尚齒例会	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)(1)]	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)(1)]
安達・戸田会員担当			

～ ポリオ根絶キャンペーン(加古川楽市)2025.9.6(土)-7(日) ～



ユン・サング元 RI 会長エレクトが 75 歳で逝去

2026-27 年度国際ロータリー会長として選出された有能なリーダーで実業家であるユン・サング氏が、膵臓がんとの闘病の末、9 月 5 日に逝去されました。新漢陽ロータリークラブ（韓国）会員だったユン氏は、治療を理由に 8 月に会長エレクトの職を辞任していました。



「ユン氏の死は、世界のロータリーファミリーにとって大きな喪失です」とフランチェスコ・アレツツォ RI 会長は述べます。「ユン氏の多大な奉仕、ビジョン、ロータリーへの貢献は、これからも私や人びとに勇気と意欲を与え続けるでしょう。その遺志は、ロータリーの友人たちや、彼の献身的な奉仕によって支えられた人びとの心の中に生き続けます」

ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長は、「がん治療中も、労をいとわずロータリーに関わり続けたリーダー」とユン氏を偲びます。「ユン氏の献身と思いやりは、彼のやり残した仕事を私たちが引き継ぎ、ロータリーの成長と強化に取り組み続ける上で、インスピレーションとなるでしょう。ウンソン夫人とご家族に、深い哀悼の意を表します」

ユン氏は、韓国ソウル育ち。父親は著名な政治活動家で、1960 年代初めに韓国大統領を務めました。父親のように政界に入る代わりに、建築への関心を追い求めて高校卒業後に米国に渡航し、シラキュース大学で建築学の学士号と修士号を取得。

1980 年代後半に帰国して建築材料の設計・販売を手がける Dongsuh 社を創業し、これが 1988 年ソウルオリンピックのための建設ブームと重なり、大きな成功を収めました。その後、不動産と投資を扱うベンチャー企業である Youngan 社を創業しました。

1987 年、新漢陽ロータリークラブの創立会員としてロータリーに入会。ユン氏はロータリーを、職業人のネットワークづくりの拠点、また地域社会へのより深い参画の機会であると考えました。入会した当初からロータリー青少年交換プログラムの推進に尽力し、奨学金委員会で活動。これらの関心は、特に国際奉仕に焦点を当てた、生涯にわたる奉仕への熱意へと膨らみました。

「Keep Mongolia Green」（モンゴルを緑に）プロジェクトでは、共同委員長を 8 年間務め、モンゴル、中国、韓国の周辺地域で頻繁に発生していた砂嵐の緩和のためにゴビ砂漠に防風林を植えました。このプロジェクトはやがて、砂漠化緩和を目的とするカラコルムでの果樹園へと拡大し、現在カラコルムはモンゴル最大の緑地帯となっています。この成功は、モンゴル政府が砂漠化対策のためにさらなる行動を起こすきっかけとなりました。この画期的なプロジェクトを指揮した功績が認められ、モンゴル大統領から友好勲章を受けました。

「砂漠で木が育つとは誰も思っていませんでしたが、私たちはプロジェクトを成功させました」。こう話すユン氏は、モンゴルに 33 回、足を運びました。ユン氏は数十年にわたって世界各地を訪れ、自らがリーダーを務めたり、計画に携わったりした 30 以上のロータリー財団補助金プロジェクトを視察しました。これらは、アフリカやアジア、オーストラリア、ヨーロッパ、北米、南米で実施されたものでした。

エリザベス女王から大英帝国勲章を、大韓民国の大統領と首相から功労賞を授与されました。また、ユン・ボソン記念財団の管理委員、ソウル春の室内楽フェスティバル委員長、韓国国連協会理事を務めました。

ロータリーの理事と管理委員のほか、数々の委員会の委員長を歴任。妻ウンソンさんと共に、ロータリー財団ベネファクター、メジャードナー、アーチ・クラフ・ソサエティ会員、ポール・ハリス・ソサエティ会員、遺贈友の会会員となり、ロータリー財団特別功労賞の受賞者でもありました。

「とてつもなく純粋で寛大な方でした」とステファニー・アーチック元国際ロータリー会長は話します。数年前、アーチック氏の姪が英語教師として働くために米国から韓国に渡った際、ユン氏が自宅に招き、現地の文化に馴染めるよう世話をしてくれたと言います。韓国を訪れた多くのロータリー会員が、ユン氏の手厚いもてなしと思いやりに触れました。ユン氏は、RI 会長としての 1 年を通じて、ロータリーの長年の伝統を守り、さらに発展させることを待ち望んでいました。

カルガリー（カナダ）で 6 月に開かれた 2025 年ロータリー国際大会の出席者への動画メッセージの中で、ユン氏はこう語りました。「自分は単独のリーダーではなく、むしろ強く切れることのない鎖の輪の一つであると考えています。この鎖は、歴代会長たちの知恵と献身によって形づくられたものであり、今日、私を支えてくれている多くの方々によって力強く握られています」

韓国陸軍の退役軍人であり、Andong Presbyterian Church の名誉長老でもあるユン氏は、歴史的建築物に造詣が深く、韓国の文化遺産の保存を提唱しました。自身も、19 世紀に建てられた韓屋（韓国の伝統的な家屋）に住んでいました。ユン氏の父親はこの家で国政をとり、韓国の民主化運動の本部として、また政治活動家の避難所としてもこの家が使われました。

ご遺族には、妻ウンソンさんと成人した二人のお子さん、数人のお孫さんがおられます。